

新ひょうご 防災アクション

— さあ、防災アクションを実践しよう！ —



1.17は忘れない



伝える
備える
活かす

防災マスコット
はばタン

防災力強化県民運動



ひょうご安全の日推進県民会議

目次

はじめに
新ひょうご防災アクションの進め方

Step I 災害を知る

- 1 直面する南海トラフ地震P.2
- 2 活断層地震の被害の大きさP.5
- 3 近年激甚化している風水害P.8
- 4 土砂災害の危険情報P.12
- 5 高潮災害の恐ろしさP.14

防災・減災活動を実践する

Step II 防災・減災について学ぶ

- 1 防災施設の見学は防災学習の第一歩P.16
- 2 防災学習会等で防災・減災を学びましょうP.20
- 3 防災教育で防災の力を養いましょうP.24
- 4 防災リーダー講座に参加しましょうP.26
- 5 防災を専門的に学びましょうP.28

Step III それぞれの主体（個人・地域・企業）が自ら考え、災害に備える

個人で備える

- 1 ハザードマップを使って自宅等の立地の危険性を知りましょうP.30
- 2 住宅の耐震診断・耐震改修をしましょうP.32
- 3 室内安全のため家具を固定しましょうP.35
- 4 地震時の電気火災を防ぎましょうP.37
- 5 食料、生活必需品等の備蓄に努めましょうP.38
- 6 地震保険とフェニックス共済に合わせて加入しましょうP.40

地域で備える

- 1 地域の防災マップをつくりましょうP.43
- 2 自主防災組織の活動を広げましょうP.44
- 3 災害時要援護者を地域で支えましょうP.47
- 4 地域で地区防災計画をつくりましょうP.52

企業で備える

- 1 企業 BCP を策定して災害に備えましょうP.53
- 2 事業所として地域の消防防災活動に協力しましょうP.55
- 3 災害に備えた企業と地域の連携を構築しましょうP.56

Step IV 訓練や体験により備える

- 1 防災訓練に積極的に参加しましょうP.58
- 2 避難所の自主運営に備えましょうP.61
- 3 災害ボランティアに参加しましょうP.63

Step V 災害時に的確に行動する

- 1 防災情報を的確に取得しましょうP.65
- 2 避難情報の意味を理解し行動に移しましょうP.67
- 3 状況に応じた避難をしましょうP.69
- 4 局地的豪雨による都市水難事故を防ぎましょうP.70

防災アクションを実践するにあたって

- 「マイ防災アクション」を宣言しましょうP.71

- ・ひょうご安全の日推進県民会議P.73
- ・ひょうご安全の日推進事業（助成金）実践活動事業P.74
- ・兵庫県マスコット「はばタン」P.75
- ・防災・減災チェックシートP.76

はじめに

兵庫県では、阪神・淡路大震災から 10 年となる平成 17 年 4 月に条例で 1 月 17 日を「ひょうご安全の日」と定め、同年より県民、民間団体、事業者等と「ひょうご安全の日推進県民会議」を立ち上げ、震災の経験を踏まえて県内のあらゆる地域で県民あげて防災・減災活動の実践に取り組む防災力強化県民運動の展開を進めてきました。

しかし、阪神・淡路大震災から 20 年以上が経過し、震災の教訓の風化が懸念されるとともに、平成 28 年 4 月の熊本地震においては、阪神・淡路大震災や東日本大震災で指摘された同じ課題が指摘されるなど、過去の災害に学べていない状況が浮き彫りになりました。

今、我々は 30 年以内に 70% の確率で発生するとされる南海トラフ地震に直面しているほか、激甚な直下型地震もいつ、どこで発生するか分かりません。

さらに、近年の台風や前線による風水害や土砂災害も局地化、集中化、激甚化しており、地球温暖化に伴う気候変動による極端な豪雨災害は、今後どこでも起こりうると言われています。

このような大規模災害に対処し、その被害を最小限に抑えるためには、起こりうる大規模災害の危険性を知り、個人・地域・企業のそれぞれの主体が自ら考え、災害の発生に備えた取組みを実践することにより、災害時に的確に行動できる地域防災力を向上させることが喫緊の課題となっています。

このため、県民会議では、災害の種別ごとにその危険性を知るとともに、防災・減災について学び、自らが考えて災害に備え、訓練やボランティアに参加し、災害時には的確に行動していただけるよう、地域防災力の向上に向けた新しい行政施策や地域における先進的な事例も盛り込んだ「新ひょうご防災アクション」を策定しました。

この「新ひょうご防災アクション」を活用して、県民の皆さんが安全・安心の兵庫の実現に向け防災・減災活動を実践し、確実なステップアップを図っていただくことを期待します。

平成 29 年 1 月

ひょうご安全の日推進県民会議

新ひょうご防災アクションの進め方

Step I 災害を知る

種別ごとに災害を知る

- | | | |
|-----------------|----------------|-------------|
| 1 直面する南海トラフ巨大地震 | 3 近年激甚化している風水害 | 5 高潮災害の恐ろしさ |
| 2 活断層地震の被害の大きさ | 4 土砂災害の危険情報 | |

防災・減災活動を実践する

Step II 防災・減災について学ぶ

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1 防災施設の見学は防災学習の第一歩 | 4 防災リーダー講座に参加しましょう |
| 2 防災学習会等で防災・減災を学びましょう | 5 防災を専門的に学びましょう |
| 3 防災教育で防災の力を養いましょう | |

Step III それぞれの主体(個人・地域・企業)が自ら考え、災害に備える

個人で備える

- | | |
|--------------------------------|-----------------------------|
| 1 ハザードマップを使って自宅等の立地の危険性を知りましょう | 4 地震時の電気火災を防ぎましょう |
| 2 住宅の耐震診断・耐震改修をしましょう | 5 食料、生活必需品等の備蓄に努めましょう |
| 3 室内安全のため家具を固定しましょう | 6 地震保険とフェニックス共済に合わせて加入しましょう |

地域で備える

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1 地域の防災マップをつくりましょう | 3 災害時要援護者を地域で支えましょう |
| 2 自主防災組織の活動を広げましょう | 4 地域で地区防災計画をつくりましょう |

企業で備える

- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| 1 企業 BCP を策定して災害に備えましょう | 3 災害に備えた企業と地域の連携を構築しましょう |
| 2 事業所として地域の消防防災活動に協力しましょう | |

Step IV 訓練や体験により備える

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1 防災訓練に積極的に参加しましょう | 3 災害ボランティアに参加しましょう |
| 2 避難所の自主運営に備えましょう | |

Step V 災害時に的確に行動する

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1 防災情報を的確に取得しましょう | 4 局地的豪雨による都市水難事故を防ぎましょう |
| 2 避難情報の意味を理解し行動に移しましょう | |
| 3 状況に応じた避難をしましょう | |

防災アクションを実践するにあたって

「マイ防災アクション」を宣言しましょう